

普及活動検討会実施報告書

巨理農業改良普及センター

実施月日：令和3年1月26日

実施場所：巨理農改会議室

1 検討内容

2 検討委員の構成

(単位：人)

No	検討項目
1	令和2年度普及指導計画について
2	プロジェクト課題の取組状況について ①次代につなぐ大規模法人の生産体制整備による経営の安定化上(プロ課題N01) ②大規模水田営農に対応した水稻直播種栽培技術の向上と実践(プロ課題N02)
3	令和3年度普及指導計画(案)について

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	4	マスコミ	
農業関係団体	2	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果(コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
検討項目1 (プロ課題N01)について	4.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災以降、沿岸部では、ほ場整備に伴い、集約・法人化が急速に進んだが、今後は「継続」が共通の課題と思われ、この取組みはモデル的事例として評価出来る。</li> <li>生産管理システムの導入による計画の見える化や、さらなる活用は期待が大きい。法人の売り上げ向上につながる農閑期の野菜導入も評価出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営の継続や安定化は、震災後設立された土地利用型法人の共通した課題なので、本取組の事例がモデルケースとなり、他の法人に波及できるよう努力いたします。</li> <li>本年実施した大豆の生産技術改善を検証し、次年度の栽培において改善する他、新規導入部門の野菜の生産についても安定生産に向けた支援を行います。</li> </ul>
検討項目2 (プロ課題N02)について	4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>水田農業の大規模化に伴い、省力化技術の一環としての選定は適正であり、管内でも注目される所でもある。まだ、課題はあるものの、本県では伸びしろがあると思うので、今後の普及が望まれる。</li> <li>今後も勉強会での情報共有やマニュアル化が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直播勉強会での情報交換や先進地視察をとおして、取組農家自らがほ場条件等に合った最適な栽培管理が出来るよう誘導してまいります。</li> <li>生育調査結果や先進農家の優良事例等について、稲作情報や直播勉強会等を通じて適時提供いたします。</li> </ul>
令和3年度普及指導計画について	4.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>4課題中3課題が園芸課題であり園芸王国 巨理・名取に沿ったものになっている。</li> <li>いちごは「にこにこベリー」のみでなく産地継続のための作付け品種の考え方の整理も必要では。</li> <li>カーネーションの課題はブランド化を目指すなら、産地表示にとどまらないアプローチと効果検証が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、地域や農業者が抱えている課題の把握に努めながら、関係機関との連携を図り、計画作成を行います。</li> <li>にこにこベリー導入に関しては、導入に際して作業分散の視点を考慮して、品種構成を検討していきます。</li> <li>頂いた意見を参考に、令和3年度の活動内容に活かしてまいります。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>農家に寄り添い顔の見えるご支援・取組みに感謝。農家の規模拡大により経営的視点が必要であり今後も支援願う。</li> <li>園芸王国 巨理・名取の創造を目指し頑張りたい。</li> <li>経営安定までに時間がかかる果樹振興について相談したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頂いた意見を、令和3年度の普及活動に活かしてまいります。</li> </ul>

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する